

そよかぜ通信

第269号

発行

2022年11月

社会福祉法人 調布市社会福祉事業団
知的障害者援護施設そよかぜ 施設通信
〒182-0032 調布市西町290-4

TEL 042-481-7663

FAX 042-481-7074

URL <http://www.jigyodan-chofu.com/soyokaze/>

ホームページではカラーで掲載しております。是非ご覧下さい。



活動のーコマ写真館



～食欲の秋 バス喫茶編～

びっくりドンキーへ

テイクアウトではなく外での食事も
楽しめるようになってきたバス喫茶☆

ぐりーんうおーく多摩へ

できたてホカホカ、季節を感じる店内
で食べると一層おいしく感じますね♡

街中のハロウィン
の雰囲気
を満喫しながらのティータイム♪



☆ 今月のキラリ☆一番星! ☆

今月のキラリ☆一番星は、Mさんです!

そよかぜでの生活も少しずつ慣れてきて、毎日のお仕事も頑張っています!



そよかぜとはこんなところ

そよかぜは、知的に障がいのある18才以上の方が自宅やグループホームから平日の日中に通所し、午前には織物、陶芸等の作業、午後は運動や学習、クラブ活動などの各種の活動をして、地域で地域の社会資源を使いながら生活を送る為の通所施設です。

職員リレーコラム♪明日は明日の風が吹く?!

「そよ風のように街に出よう」

内藤純江



私は歩くのが趣味なのですが、今は移動支援や同行援護の仕事も多くなり、歩くのがほぼ仕事のようにもなってきました。以前は猫背でいつも下をうつ向いて地面ばかり見て歩くのが癖でよく人から指摘されていたものです。それはそれで道端に咲く小さな草花と出会って名前を調べたり、それをインスタに投稿したりして楽しさも自分なりにあったのですが、気分が沈んでいる時には更に落ち込んでしまいがちでした。最近は胸を張って前や上を見て歩くように意識しています。空や周りの風景やいろいろな人たちを眺めながら歩いていると自分を取り巻く景色が変わり少しずつ世界が違ってきたような気がします。そして前向きな気分になります。また、1人で過ごすことを好んでいたのですが、ガイドヘルパーで利用者さんと一緒に過ごすことで、誰かと景色や空気を共有することの楽しさを沢山感じるようになり、お互いの大切な時間を共にさせて頂くということの尊さと感謝を感じて歩くようになりました。

昔、『そよ風のように街に出よう』という雑誌がありました。今は廃刊になったようですが、そのフレーズがとても好きでずっと心に残っていました。今はまさにそんな気持ちで、利用者さんとそよ風のように街に出て、私たちが誰かの素敵な風景になっていると感じながら歩けたら素敵だななんて思っています。

実習生が来ています

限られた実習期間ですが利用者さんと日々の活動を通して向き合っています。



ミニ写真館 沖縄の三線演奏会



沖縄出身の名嘉さんがボランティアで来てくれました。三線の生演奏と名嘉さんの歌声に皆さんノリノリでした♪

